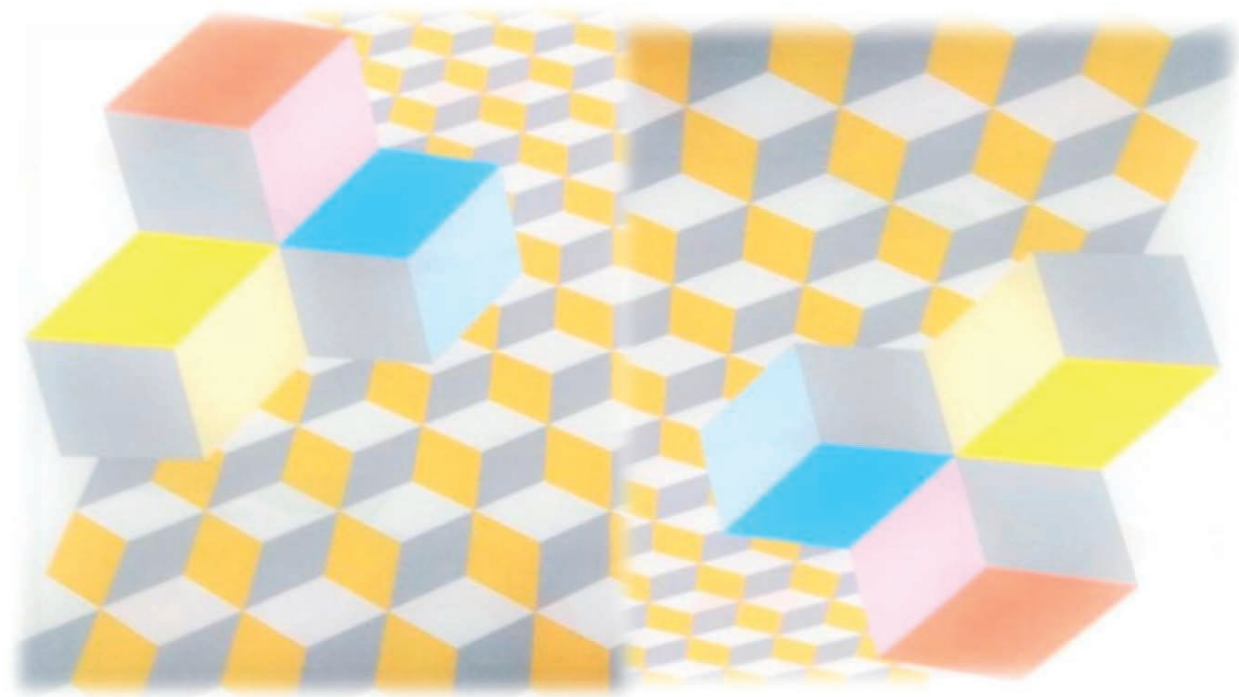




岩手大学教育学部 (2014) より引用

# 通常の学級における教科指導

— “みんな”と“この子”の両方に配慮する授業づくり—



インクルーシブ教育は、障害の有無に関わらず、全ての子どもが可能な限り共に学ぶことを目指すものです。

通常の学級においては、子ども達一人ひとりの多様性を踏まえ、以下の2つの視点を踏まえた授業づくりが求められます。

- 学級の“みんな”の参加と理解を促すユニバーサルデザインに基づいた授業づくりの工夫（基礎的環境整備）（右図）
- より支援の必要な“この子”にとって求められる指導上の工夫（合理的配慮）

このリーフレットでは、“みんな”と“この子”の両方に配慮する授業づくりのポイントについてまとめました。



授業のユニバーサルデザイン化のポイント  
(高知県教育委員会, 2013より引用)

2020年3月

岩手大学教育学部特別支援教育科

## 授業づくりに用いることができる評価法

■ SDQ (Strength and Difficulties Questionnaire: 子どもの強さと困難さアンケート)

子どもの行動面の特徴について5領域(行為、多動/不注意、情緒、仲間関係、向社会性)から支援ニーズを評価します。

詳しくは <http://www.sdqinfo.com/>

■ ユニバーサルデザインに基づく授業づくりチェックリスト (UDチェックリスト)

高知大学教育学部特別支援教育科によって作成されたチェックリストで、ユニバーサルデザイン化授業づくりの5領域(1ページ目)に基づいた授業づくりの実践度を20項目から評価します。右の図に質問項目を掲載します。

本事業の詳細は、岩手大学教育学部オリジナルサイト「研究に関する報告書等」にて閲覧できます。

詳しくは <https://www.edu.iwate-u.ac.jp/kenkyuu/>

○ 報告書の概要 ○

I 授業づくりにおける基礎的環境整備と合理的配慮の概要

II 集団指導の実践報告

小・算数、小・外国語活動

中・数学、中・英語

III 個別指導の実践報告

小・算数、小・外国語活動、

中・数学、中・英語

IV まとめ

ユニバーサルデザインに基づいた授業づくりチェックリストの質問項目 (吉岡・鈴木, 2014; 宗石・是永・岩城, 2019など)	
<b>ユニバーサルデザインポイントⅠ. 環境の工夫</b>	
1	教室の前には一切掲示物をしない
2	座席の位置は子どもの状態を考慮して教師が確認する
3	1時間の授業の流れを視覚的に提示する
4	授業の初めや途中に学習に必要なものが出されているか確認する
5	学習姿勢や学習規律を具体的に指示する
<b>ユニバーサルデザインポイントⅡ. 情報伝達の工夫</b>	
6	アイコンタクトを取りながら具体的に明確な指示や説明をする
7	板書や絵、写真、具体物等の視覚的支援を活用する
8	文字の大きさや量を考慮する
9	授業の流れが分かる板書にする
<b>ユニバーサルデザインポイントⅢ. 活動内容の工夫</b>	
10	授業の進め方にパターンを決めている
11	「静」と「動」の活動を組み合わせる等、授業にメリハリをつける
12	次の課題を事前に準備する等、理解が早い子どもへの対応や見通しを持たせる工夫をする
13	具体物の操作や体験的な学習を取り入れる等、多様な感覚を使う工夫をする(見る、聞く、話す、書く、動く等)
14	児童生徒同士の関わり合い、学び合い、教え合う場を設定する
<b>ユニバーサルデザインポイントⅣ. 教材・教具の工夫</b>	
15	ワークシート等を活用する
16	身近なものから教材を見つける等子どもがイメージしやすい工夫をする
17	ICTを活用し、学習内容が理解しやすくなる工夫をする
<b>ユニバーサルデザインポイントⅤ. 評価の工夫</b>	
18	具体的に子どもに伝わる方法で褒める
19	評価を目で見えるように児童生徒に示す工夫をする(○印を入れる、シールを貼る、結果のグラフ化等)
20	行動の直後の表や机間指導等で個別に賞賛や注意を行う
各質問項目は、5段階評価(1:全くできてない、2:あまりできていない、3:どちらともいえない、4:少しできている、5:かなりできている)によって評価する	

現在、我が国の学校教育は「障害の権利に関する条約」に掲げられたインクルーシブ教育の理念を「インクルーシブ教育システム」として構築、実現を目指しています。通常の学級においては、発達障害やその可能性のある児童生徒を含むすべての児童生徒が「参加」し「理解」するための授業づくりの工夫について、一人ひとりのニーズに応じた指導/支援が求められます。このことは、通常の教育において、これまでも先生方が目指してきた「よりよい授業」の追究とも重なります。

本研究では、このような授業づくりについて、クラスの全員(“みんな”)のために良い工夫と、より支援を要する個人(“この子”)の両者に配慮するための工夫について検討し両視点を通常の授業づくりに適用可能となる“授業展開案”を作成しました。

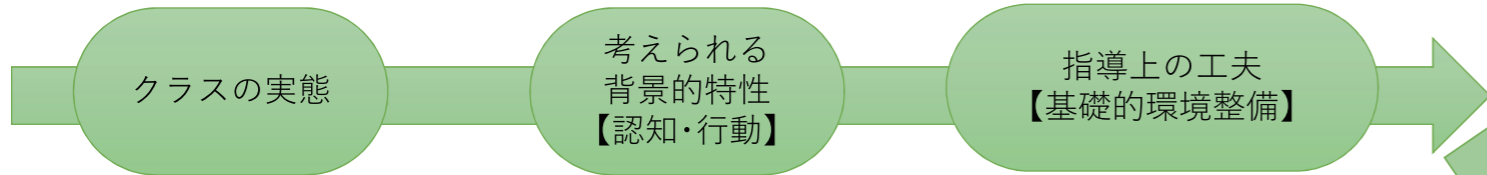
本研究が先生方とすべての子ども達に効果的な授業づくりの一助となれば幸いです。

2020年3月

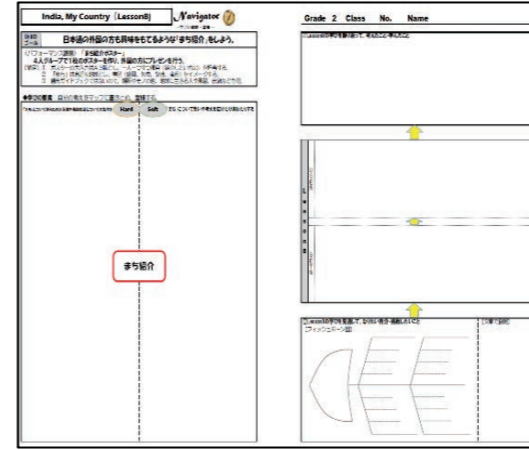
## “みんな”に必要な授業づくりの工夫

クラス（集団）全員の「参加」と「理解」を促すための工夫です。（ユニバーサルデザイン化授業）

- 合理的配慮のためのベースになります
- 授業づくりの工夫では主にユニバーサルデザイン化のための5領域（1ページ参照）から考えます。
- 「クラスの特徴」と「教師の授業づくりのスタイル（特徴）」との組み合わせから求められる工夫領域を考えます。
- クラスの特徴や授業づくりスタイルはチェックリスト（4ページ参照）を使って評価ができます。



実態（例）	考えられる背景的特性（例）	指導上の工夫（例）
指示理解が弱い（今何をすべきか把握できていない、理解しても行動に移せない）	説明や指示を理解する力の弱さ	【I 環境の工夫】 ・授業展開の“見通し”の提示 ・“型”（パターン化）のある授業構成
活動内容の理解が弱い（できていること／できていないことの理解が曖昧）	一般的な理解力の弱さや見通しを立てて実行する力の弱さなど	【IV教材・教具の工夫】 【V評価の工夫】 ・活動ゴールなど“見通し”の提示 ・振り返りツールの活用
ノートテイクなど活動の取りかかりが遅く、集中が続かず活動に取り組めない	不注意や衝動性など注意のコントロールの弱さ	【II 情報伝達の工夫】 ・指示や説明の前の“注意喚起” ・一度に出す指示の量と質の調整 ・ポイントの板書など視覚化



【IV教材・教具の工夫】活動見通しのあるワークシート（中学校・英語の例）

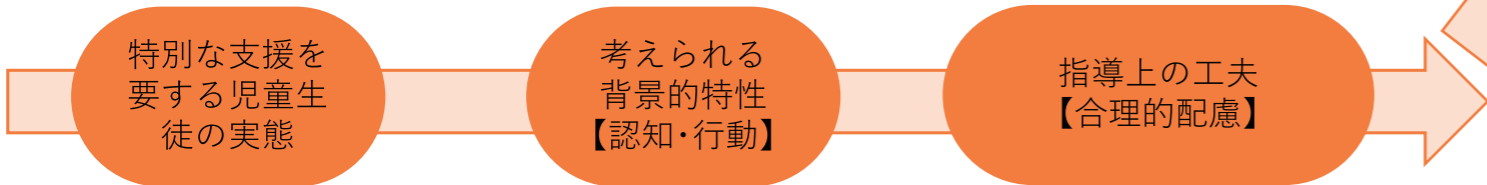
1時間の授業で行う学習活動が全て示されることで、活動のゴールと手順の見通しが持ちやすくなります。

## “みんな”と“この子”の両方に配慮する授業づくり

## ”この子”に必要な授業づくりの工夫

支援を要する児童生徒のつまずきと背景的特性を踏まえた「個に応じた指導・支援」です。

- 基礎的環境整備としての授業づくりの工夫に加えて行う工夫であり、基本的な授業の流れに沿って、加えます。
- 必要に応じて、特別支援教育コーディネーターや通級指導担当などと連携し、詳細なアセスメント結果を踏まえて指導・支援の方法を検討します。



実態（例）	考えられる背景的特性（例）	指導上の工夫（例）
指示理解が弱い（今何をすべきか把握できていない、理解しても行動に移せない）	・言語や指示に注目をする力の弱さ ・言語を理解する力の弱さ ・周囲の状況の理解や参照する力の弱さ	・説明内容を視覚的に示す。 ・「説明を始めます」と宣言し、注目を確認してから話は始める。 ・「隣同士でどんな式を立てたか確認し合いましょう」として他者を参照する機会を設ける。
ノートテイクなど活動の取りかかりが遅く、集中が続かず活動に取り組めない	・不注意や衝動性など注意のコントロールの弱さ ・文字を書くことの苦手さ ・文字を読むことの苦手さ	・黒板にて、ノートテイクすべき箇所を明示するマークを随時貼り付ける。 ・ノートテイク内容を精選する。 ・ノートテイク内容を読み聞かせる。

- 基礎的環境整備と合理的配慮の両方の観点を取り入れた授業実践のための授業展開案のフォーマットです。

- 通常の授業づくりにおいて、クラスのために必要な工夫と、特別な支援を要する児童生徒個人のために必要な工夫を書き込むことで、包括的な授業（“みんな”にも“この子”にもいい）展開が可能になります。

- どの教科でも活用が可能な汎用性のあるフォーマットです。

	学習活動	時間	留意点		備考
			基礎的環境整備	合理的配慮	
導入	例：中学校、英語  ○あいさつ ○ゴールの共有 ・単元、本時のねらいと流れを示す。	10	・学習シートを配布し説明する。 ・全単元と同様の書式とする。	・学習シートは、Aさんが記述しやすいような書字スペースを確保する。	学習シート
展開	例：小学校、算数（多角形の内角の和）  ○個人ワーク  ○ペアワーク    ○全体で発表	7	・ペアワークの要領を指示する（①座席が窓際の人から説明する。②話す人は、図を相手に見せながら、補助線と式について説明する、③聴く人は、説明中に～）	・机間巡視にて、Bさんのペアに注目し、「Bさんは、2つの式を順番に説明していてわかりやすかったね。」などのフィードバックを行う。（称賛、方法知の自覚を促進）	個人ワーク用の図版
		5			
		3			
終結	例：小学校、外国語活動  ○学習の振り返り    例：中学校、数学  ○学びの振り返り	5	・記述の要領を指示する（「なるほどなと思ったことを描きましょう」）  ・記述の要領を、振り返りシートの項目にて、予め指示する。	・机間巡視にて、Cさんに口頭で尋ね、言葉にしたことを記すよう促す。  ・Dさんと、Eさんに、板書内容のキーワードを指し示し確認する。	振り返りシート

基礎的環境整備と合理的配慮の観点を導入した授業展開案フォーマット